

平成 30 年一番茶新芽の生育状況調査

茶業研究所の定点茶園において、一番茶新芽の萌芽※・生育状況について調査を行い、府内生産者及び関係機関に情報提供を行っています。

本年は 2 月下旬以降の平均気温が平年と比べ高くなり、一番茶の萌芽が前年より 4 日、平年よりは 2 日早い 4 月 3 日となりました。萌芽以降も平年より平均気温が高く（4 月平均気温 平年差+1.3℃）なり、新芽の生育は平年より 1 週間程度早まりました。

一番茶の摘採が終了する 6 月以降には、萌芽・生育状況・収量調査の結果をまとめ、本年の一番茶を振り返るための資料として公表します。

※ 萌芽：新芽の長さが包葉（芽を包んでいた葉）の約 2 倍になった状態のこと



左上. 萌芽宣言（記者発表）



右上. 摘採前日の茶園



左下. 萌芽した新芽



右下. 摘採前日の新芽